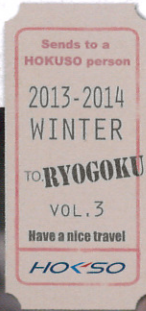


たのし♪おいし♪おでかけ小ネタ帖

# ちよこぷら

# 両国 RYOGOKU



両国で、あったまろう。



## イベント情報

初場所は  
平成26年  
1月12日(日)~  
26日(日)

### 大相撲東京場所

会場: 両国国技館 MAP■  
年3回(1月・5月・9月)の大相撲東京場所。  
開催時期の両国は大相撲一色になります。  
住: 東京都墨田区横綱1-3-28 交: 都営浅草線浅草橋駅から徒歩13分  
チケット・お問い合わせ: 財団法人日本相撲協会 ☎03-3623-5111

平成26年  
1月上旬~  
配布開始

### すみだまち歩き博覧会 第3弾

ガイドマップ配布場所: 両国観光案内所 MAP■  
新たに8コースの墨田区「まち歩きガイドマップ」が発行されます。1コースに1箇所のスタンプポイントがあり、集めて応募するとスタンプの数に応じて抽選でプレゼントが当たります。  
住: 東京都墨田区両国2-19-1 ザ・ホテル ヘルグランデ1F 交: 都営浅草線浅草橋駅A1出口から徒歩11分 お問い合わせ: 両国観光案内所 ☎03-3631-0028

3月末~6月末  
9月中旬~11月末の  
土日・祝祭日と  
大相撲東京場所  
期間中毎日

### まち歩きガイドツアー

会場: 両国観光案内所発 MAP■  
開拓史と元禄文化を辿る「両国北コース」、元禄から明治の両国を辿る「両国南コース」を各約90分で巡ります。(荒天中止)  
住: 東京都墨田区両国2-19-1 ザ・ホテル ヘルグランデ1F 交: 都営浅草線浅草橋駅から徒歩11分 お問い合わせ: 一般社団法人 墨田区観光協会 ☎03-5608-6951

平成26年  
2月23日(日)

### 両国国技館5,000人の第九コンサート

会場: 両国国技館 MAP■  
2014年で30回を迎えます。一般公募した5,000人が歌い上げる「第九」は大迫力です。  
住: 東京都墨田区横綱1-3-28 交: 都営浅草線浅草橋駅から徒歩13分  
チケット・お問い合わせ: 国技館すみだ第九を歌う会事務局 ☎03-5608-1611 (平日 10:00~17:00)

HOKUSO

## お出かけに便利でおトクな 1日乗車券発売

北総線内・都営地下鉄線内  
乗り降り自由



大人 1,800円 小児 900円

北総線内乗り降り自由



大人 1,000円 小児 500円

有効期間 平成25年12月21日(土)~平成26年1月5日(日)までの1日に限り有効

有効区間 **ゆくくる遊遊きっぷ**: 北総線内全線(京成高砂~印旛日本医大間)及び都営地下鉄線内全線(浅草線・三田線・新宿線・大江戸線)  
京成線京成高砂から押上間は1往復乗車のみ有効です。有効区間外までご利用の際は、接続駅から別途運賃をお支払いください。

**ゆくくるきっぷ**: 北総線内(京成高砂~印旛日本医大間)  
この乗車券は北総線内全線(京成高砂から印旛日本医大間)に有効の乗車券です。他社線(京成線・都営浅草線・京浜急行線など)までご利用の際は、接続駅から別途運賃をお支払いください。

発売箇所 北総線各駅及び京成高砂駅の定期券発売所

発行枚数 **ゆくくる遊遊きっぷ** 大人3,000枚 小児 500枚 **ゆくくるきっぷ** 大人10,000枚 小児 1,000枚  
※売り切れ次第終了

払い戻し 有効期間内で使用開始前のもに限り、北総線各駅及び京成高砂駅の定期券発売所で取り扱い致します。払い戻し手数料は210円です。

お問合せ: 北総鉄道 運輸部 ☎047-445-7161 北総鉄道 検索

本誌記載の情報は、店舗・施設の都合により予告なく変更となる場合がございます。

## アクセス

●都営浅草線浅草橋駅下車徒歩約5分~。

※または、蔵前駅で都営大江戸線に乗り換え「両国」駅下車、浅草橋駅でJR総武線に乗り換え「両国」駅下車でも便利です。



HOKUSO



日本を代表する  
相撲の町、両国。

その文化と歴史を  
肌で感じる歩き旅。



両国橋からの眺め

隅田川に架かる  
両国橋を渡れば、  
町中ありとあらゆるところに  
相撲部屋やちゃんこ店。  
暖簾をくぐれば  
相撲甚句が耳に届き、  
道を進めば力士像がお目見え。  
そんな熱気あふれる  
相撲道と共に、  
江戸の文化を受け継ぎ、  
静かに落ち着く下町風情も。  
行ってこそわかる、  
両国の奥深さ。





自熱した戦めに  
全身が打ち震える

# 「日本の国技」 大相撲を観戦

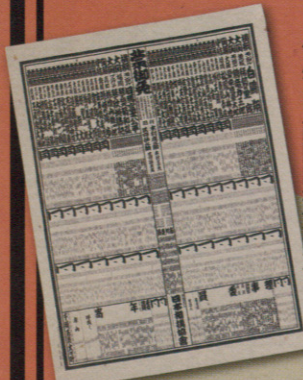
そこへ足を踏み入れた瞬間、轟く声援と熱気のみ込まれ、力士の鬼気迫る激しい「当たり」にくぎ付けになる。



千五百年以上も続く  
相撲の歴史をひもとく

「相撲」という言葉の語源は、「争う」「抵抗する」という意味の動詞「すまふ」に由来するといわれています。

国技館の地下で作られているのです。さて、待ちに待った横綱の土俵入り。柏手を打って四股を踏む横綱に「よいしょ!」の掛け声がかかります。16時過ぎから結びにかけては幕内力士の熱戦の連続。力士の所作を見れば仕切り時間もあつという間です。平成25年11月の大相撲九州場所では、日本人力士の大関稀勢の里が両横綱を破り、平成26年1月の初場所はいよいよ稀勢の里の綱取りが期待されます。生の迫力を体感しに両国国技館へぜひ。



MAP1



## 両国国技館

収容人数は11,000人以上の大スケール。土俵は小さく直径4.55m、面積は約16.2㎡。

☎03-3623-5111 (日本相撲協会) 住: 東京都墨田区横綱1-3-28 交: 都営浅草線浅草橋駅から徒歩13分

MAP1

[写真提供: 日本相撲協会]



MAP3

## 「写真で見る相撲史」 相撲写真資料館

一九一九年から68年間、日本相撲協会の専属で力士の写真を撮り続けた工藤写真館。現館長にとって力士は家族そのものだから、深みと迫力のある写真に見惚れます。

☎03-3631-2150 住: 東京都墨田区両国3-13-2 交: 都営浅草線浅草橋駅から徒歩13分  
営: 祝日を除く火曜日のみ開館10時~17時(東京場所開催中は毎日開館)

MAP3

## 晴れの舞台、本場所。 国技館の一日を追う



トントントントント、櫓の上の寄せ太鼓の合図で朝8時に開場し、幕下の取組が順々に行われます。14時ごろ、南門から国技館に場所入りする幕内力士を間近で見るチャンス。休憩の際は、焼鳥や相撲弁当はいかが? 相撲界では2本足で立っているニワトリは手をつかれない、つまり負けられないということ、縁起物とされ、焼鳥が



トントントントント、櫓の上の寄せ太鼓の合図で朝8時に開場し、幕下の取組が順々に行われます。14時ごろ、南門から国技館に場所入りする幕内力士を間近で見るチャンス。休憩の際は、焼鳥や相撲弁当はいかが? 相撲界では2本足で立っているニワトリは手をつかれない、つまり負けられないということ、縁起物とされ、焼鳥が



MAP1

「古事記」や「日本書紀」に力比べの神話や荒々しい格闘のさまが描かれ、やがて奈良時代の朝廷の行事として、観客に見せる技芸として洗練されていきました。鎌倉時代から戦国時代にかけては、武士の格闘の訓練として盛んに行われ、相撲を愛好した織田信長は上覧相撲で勝ち抜いた者を家臣にしたほど。江戸時代に入ると全国で勸進相撲が行われて、人気が高まり、今日の大相撲の基礎が確立。明治末年「日本の国技」とする呼び方が定着しました。

## 歴代横綱の写真が ぎらり。相撲博物館



MAP2

国技館の入口右手にある相撲博物館。横綱の写真をはじめ、色鮮やかな化粧廻しや行司の正装、歴史ある貴重品などが飾られています。年明けは富士山をテーマに展示を開催。

☎03-3622-0366 住: 東京都墨田区横綱1-3-28 交: 都営浅草線浅草橋駅から徒歩13分  
営: 10時~16時30分 休: 土日祝、年末年始は12/26~1/5・1/10※ほか未定の為、事前にHPなどで確かめください。(東京場所中は大相撲チケット必要、毎日開館)

MAP2



江戸情緒を感じながら

# 隅田川の畔を歩く



都営浅草線浅草橋駅から、車が行き交う江戸通りを南へ進むと神田川にぶつかります。浅草橋にたどり着くと、都会のなか



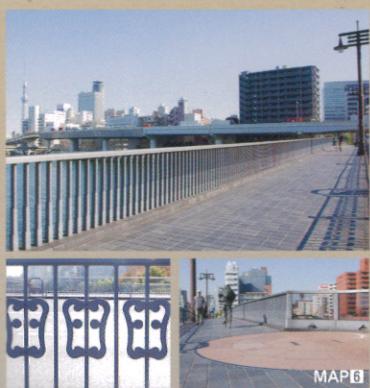
かにぼつかりとノスタルジックな雰囲気が。川面に浮かぶ何艘もの船。岸には「つり船、屋形船、花火船」の看板を掲げた船宿が軒を連

ねています。角の「佃煮小松屋」をちよつと覗いて、そよそよ揺れる柳を右手に曲がればアーチが印象的な緑の柳橋です。この辺りは、江戸中期から花街としてにぎわい、幕末・明治以降も花柳界として名を馳せました。橋には芸者衆をイメージしたかんざしのレリーフが施され、当時の面影を感じられます。



ここから神田川と隅田川が合流、そして両国橋を渡ります。この橋は、一六五七年「明暦の大火」という大火事の時にここに橋がなく逃げ場を失った十万以上の人が犠牲となりました。その後大川(現隅田川)に「大橋」という名の、西に武蔵の国と東に

下総の国の両方の国に跨った橋がかかり俗に両国橋と呼ばれ、橋の名前から両国という地名になったそうです。両国橋ができてからは、橋の袂に火避け地が作られ、屋台などが出て両国は栄えていったのです。現在は、軍配のモチーフや土俵のバルコニーなど、まさに相撲一色。橋の下へ降りてみると、巨



※錦絵は季節のイベント(大相撲、隅田川花火大会、北斎祭り等)に合わせて張り替えています。



大な錦絵が展示された「隅田川テラスギャラリー」がありました。隅田川の花火や艶っぽい遊女たちがイキイキと描かれ、江戸時代の文化を垣間見ることが出来ます。欄干部には相撲の決まり手が数多くデザインされ、その珍しさに歩が進みます。川沿いの階段を上ると両国駅西口に面した国技館通り。両国の人々から慕われる回向院へ行ってみます。

# 回向院

諸宗山 無縁寺

江戸の町に「明暦の大火」が起こり、当時の将軍、徳川家綱が、身元が分からない無縁の人々の冥福を祈り、お堂を建てたのが回向院の始まりです。「回向」とは

「心に祈る」という意味があり、縁ある人もない人も、動物も平等に祈りを捧げます。境内には、ちぎちぎな見どころがいっぱいあります。



神社仏閣の再興や造営の費用のために行われた勸進相撲。江戸時代後期の一七六八年、回向院の境内で初めて勸進相撲が開催されました。相撲の日は茶屋などのお店が建ち並び大にぎわい。ただし、相撲を見物できたのは男性だけだったとのこと。本堂内に、当時の境内の相撲小屋の絵が掲げられています。

## 勸進相撲の絵

MAP9

## 力塚

MAP10



日本相撲協会が一九三六年に歴代の相撲年寄の慰霊のために建立。その後、新弟子たちが力を授かるようにと祈願する碑ともなりました。

## 鼠小僧次郎吉のお墓

MAP11



大名屋敷を専門に荒らした窃盗犯、鼠小僧次郎吉の墓石を削り取るという受験生などに「するりと入れる」ご利益があるとわれています。

## 念仏堂

MAP12



参道の竹と連続するような空中の竹林庭園。竹と林立するスワロフスキーの念珠は数珠と同じく一本につき108珠。堂内の天井画も圧巻。

開館時間：毎日9時～16時30分



力士も立ち寄るおいしい名店を発見

# ちやんこも甘味も両国フルコース。

力士が食べる食事「ちやんこ」。なかでも鍋物が力士の日常食になったのは明治の末のこと。今では、幾多の店で独自の味を堪能できますが、記憶に残る名物料理とともに「賞味あれ」。

土俵を目前に、相撲甚句に酔いしれながら、まるで国技館に来たような雰囲気味わえます。両国ならではの特別な空間で、あったかい鍋や新鮮な刺身をつづけば、日本酒や焼酎がぐんとおいしくいただけます。

## 相撲一色、憩いの居酒屋

### 大江戸八百八町 花の舞

相撲甚句に誘われて店の奥へ行く。目の前に土俵が！日本相撲協会お墨付きの本物の土俵だそう。女性はおがれまさんが、男性客は塩を撒いてみたり、上がってみたり皆興味津々。毎週日曜日は櫓太鼓と相撲漫談、千秋楽は毎度三部屋によって貸し切りになります。千秋楽を除いた場所中は相撲甚句の舞台を毎日開催。つみれも肉もエビやワタリガニも入った、関脇ちやんこも人気ですが、おすすめは元力士・友朋関直伝の「鶏つくねちやんこ鍋」。鶏がらのだしがきいた「※ソップ炊き」の旨みが、身も心も温めてくれます。

※ソップとはオランダ語でスープの意味



1 鶏つくねちやんこ鍋は1人前1,029円とお得(写真は2人前) 2 お座敷席やテーブル席など最大500席もの着席が可能 3 まるで国技館のような店内。実はここは旧両国駅 4 両国にお越しの際はぜひと店長  
※03-5619-4488 住:東京都墨田区横網1-3-20 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩13分 営:月~金11時30分~24時(月のみ14時~16時休)(L.O.フード23時,ドリンク23時30分)土11時~24時(L.O.フード23時,ドリンク23時30分)日祝11時~23時(L.O.22時) 休:12/31、1/1

MAP

グラスビールorソフトドリンクお1人様1杯サービス  
※ご注文時に、本冊子をご提示ください。※1冊につき2名様まで。※有効期限2014年3月末まで。



## 昭和初期の名力士が創業 ちやんこ巴沔

当店四天ちやんこ鍋のなかでも寒い時期に食べたいのは味噌味「巴沔ちやんこ」。全国から選りすぐった4種の特製味噌をブレンドしたスープはコク深く、手間ひまかけて作られるつみれはふわっとろけるよう。お店のスタッフが「煮こぼる、食べこぼる」を見極め作ってくれます。



1 京都の白味噌、仙台の赤味噌、北海道の赤味噌、信州の甘口白味噌をブレンド。いわしとあじのつみれは絶品 2 平日のランチタイムにもお客さまが賑々。コース料理は要予約 3 この道30年以上の総料理長

※03-3632-5600 住:東京都墨田区両国2-17-6 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩11分 営:月~金11時30分~14時、17時~23時(L.O.22時) 土日祝11時30分~14時、16時30分~23時(L.O.22時) 休:6~8月は月曜日

MAP

## モンゴルの本格家庭料理 ウランバートル

現役力士も足繁く通うモンゴル料理の店。モンゴル人のスタッフが手作りする本場の羊肉料理の数々は、独特のくせがなく日本人好み。甘めのタレが絡んだラムのスベアリアはやわらかく、ピロシキのようなホーシヨールはもちりジュシー。東京場所中なら力士に会えるかも。



1 モンゴル出身の元力士・白馬関がオーナー 2 アットホームな雰囲気 3 ラムスベアリアは豪快にかぶりついて、ミンチした肉と野菜を小麦粉の皮で包み揚げたホーシヨールはモンゴルの家庭に欠かせない味わい

※03-6411-4298 住:東京都墨田区両国3-22-11 2F 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩12分 営:17時~24時 休:火曜日

MAP

### ソフトドリンクお1人様1杯サービス

※ご注文時に、本冊子をご提示ください。※1冊につき2名様まで。※有効期限2014年3月末まで。



## 両国唯二のほっこり甘味処 両国 國技堂

地方巡業のお土産品としても人気の「あんこあられ」が有名。今回いただいたのは、もうひとつの名物「おせんべいアイス」のせくりーむあんみつ。乳脂肪分控えめの甘すぎないアイスに、しよっぱいあられのシャキシャキ食感がたまりません。やみつきになるおいしさ！

1 両国で人気を博した「いしやし」の味わいを試行錯誤を重ねて復刻。なめらかな手作り白玉や深みのある黒蜜も美味 2 塩味のあられと半生のあんこが絶妙「あんこあられ」 3 国技館通りに面した好立地

※03-3631-3856 住:東京都墨田区両国2-17-3 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩10分 営:10時~20時 休:無休

MAP



両国のメインストリートである国技館通りには、力士の銅像が点在。台座には歴代横綱の手形レリーフがはめ込まれ、思わず大きさを比べたくなります。



小さな力士像が!



曙間の手、すごく大きい!!

国技館はお土産も充実!



都営浅草線 浅草橋駅

浅草橋駅前

江戸時代の両国橋は、現在より下流に架けられ、隅田川方面に表門があった回向院と一直線だったため、回向院の参道のようにぎわいをみせていました。



歴史茶屋 両国 縁処 (柳ばし 小松屋支店)

両国散策のひとつにぴったりの「両国縁処」。柳橋のたもとにたたずむ、あの「柳ばし 小松屋」の季節の佃煮を店内で楽しめます。キリッとして甘くない、昔ながらの佃煮は、創業明治14年から受け継がれてきた賜物。醤油、砂糖、みりん、絶妙に煮上げながら、素材のもち味はそのまま。11月から3月限定の「かき佃煮」や貴重な天然「江戸前 一と口あなご」がおすすめ。この佃煮と甘酒のよく合うこと、両国の魅力をスタッフに尋ねてみるのもよし。

☎03-3631-6060 住:東京都墨田区両国3-13-10 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩14分 営:12時~17時 休:月曜日(月が祝日の場合翌火曜日休)、12/31~1/5



名物佃煮とお土産に! 甘酒セット 500円 楊枝入れなど、可愛い小物も充実!(1個)550円

江戸東京の歴史と文化を楽しみながら体感

江戸東京博物館

江戸時代から1960年代までの東京の歴史を展示。大型模型など見どころ満載。1月2日から3月2日は「大浮世絵展」を開催。 ☎03-3626-9974 住:東京都墨田区横網1-4-1 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩15分 営:9時30分~17時30分(土は9時30分~19時30分)※入館は閉館の30分前まで。休:月曜(祝日の場合は翌日)大相撲東京場所開催中は開館、年末年始(12/24~1/1)

江戸東京博物館

両国マップ

相撲博物館 両国国技館

花の舞 八百八町

JR 両国駅

都営大江戸線 両国駅

両国観光案内所

巴濱(新店)

巴濱(本店)

両国国技堂

回向院

相撲写真資料館

両国縁処

春日野部屋

井筒部屋

出羽の海部屋

芥川龍之介 生育の地

ウランバートル 両国三丁目

時津風部屋

吉良邸跡

勝海舟 生誕の地

勝海舟 生誕の地

赤穂浪士が討ち入りした吉良上野介義央の屋敷跡



吉良邸跡

なまこ壁と黒塗りの門が目印の「吉良邸跡」は、当時の86分の1の面積で現在「本所松坂町公園」として開園。上野介の首を洗ったという井戸が残され、上野介の坐像や上野介を祀った稲荷神社などがあり、忠臣蔵ファンが訪れる人気スポット。

住:東京都墨田区両国3-13-9 交:都営浅草線浅草橋駅から徒歩14分 休:無休・入園自由

両国界隈は赤穂浪士よりも吉良さん最頂が多いのだとか...